

●自然環境の特色

○世界と日本の山地

・世界には、地震や火山活動のほとんどない地域と活発な地域があり、これらの活動が活発なのは、山地や山脈のつらなっている造山帯に集中している。造山帯には、太平洋をぐるりと取り囲むようにつながっている**環太平洋造山帯**と、アフリカ大陸北部からインドネシアまで続く**アルプス・ヒマラヤ造山帯**の二つがある。

・日本は、環太平洋造山帯に属し、国土の75%を山地がしめている山がちな国である。また、**地震**や**火山**の噴火が多い国であり、これまで多くの災害をもたらしてきたが、温泉や地熱発電、観光資源などのめぐみも生み出し、私たちの生活に役立っている。

○世界と日本の平野・川

- ・世界の平野や平原は広大で、そこを流れる川も流域面積が広く、流れも雄大である。
- ・日本の川は、標高の高いところから短い距離を一気に流れこむため、流域面積がとても小さく、流れも急である。川は、上流部でけずった土砂を下流に運び、平野や盆地をつくっている。

○日本の海岸と海流

- ・島国である日本には、さまざまな海岸がある。

海岸の種類	特徴	利用方法
山地が海にせまっている海岸	海岸線が入り組んでおり、波がおだやかで水深が深い 例：リアス海岸	港として使われる 貝やわかめの養殖が行われる
なめらかな砂浜海岸	長い砂浜が続く	海水浴場や畑として利用される
サンゴ礁に囲まれた海岸	南の海にみられる	観光資源として利用される

○世界の気候

- ・世界の気候帯は、次のように分けられる。
 - 熱帯・・・熱帯雨林気候とサバナ気候
 - 乾燥帯・・・砂漠気候とステップ気候
 - 温帯・・・温暖湿潤気候と西岸海洋性気候と地中海性気候
 - 亜寒帯・・・亜寒帯気候
 - 寒帯・・・ツンドラ気候と氷雪気候

○日本の自然災害と防災

- ・日本は、世界の中でも自然災害の多い国の一つである。環太平洋造山帯に位置しているため、火山が多く、よく地震がおこる。さらに、**梅雨**や**台風**などによる大雨にもみまわれる。

単 元 名	年 組 番	問
2年生 地理的分野 世界と比べた日本の地域的特色1	氏名	

○次の各問いに答えなさい。

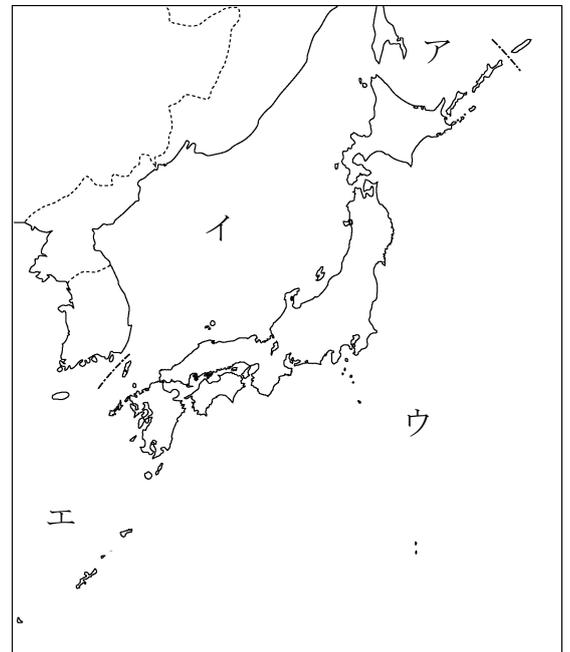
(1) 世界には二つの造山帯がある。それぞれの名前を答えなさい。

ア、アンデス山脈、ロッキー山脈、日本列島など太平洋を囲むようにつながっている造山帯
(環太平洋) 造山帯

イ、アフリカ大陸北部、アルプス山脈、ヒマラヤ山脈、インドネシアに続く造山帯
(アルプス・ヒマラヤ) 造山帯

(2) 日本の川がつくる平野について、次の表の () にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

地形	できるところ	土地利用
(ア)	平野と山間部の境目	水が地下にしみこみやすいため、(イ)に利用される。
(ウ)	河口にできる	水が地下にしみこみにくいため、(エ)に利用される。
(オ)	川や海沿いの平地より一段高い土地	(カ)や住宅地に利用される。



ア (扇状地)、イ (果樹園)

ウ (三角州)、エ (水田)

オ (台地)、カ (畑)

(3) 右の図の海の名称をそれぞれ答えなさい。

ア (オホーツク海)、イ (日本海)

ウ (太平洋)、エ (東シナ海)

(4) 世界の気候について、次の表の空欄にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

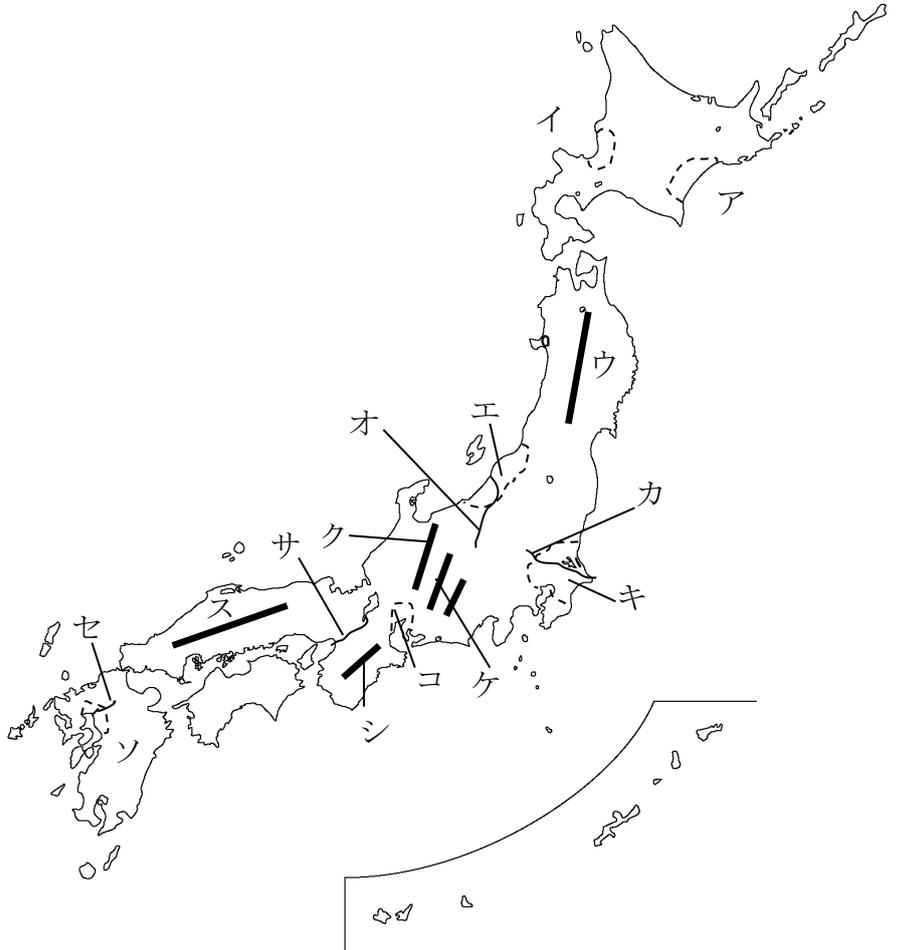
気候		特色
熱帯	熱帯雨林 気候	1年を通して気温が高く、雨が多い。
	サバナ 気候	1年を通して気温が高く、乾季と雨季に分かれている。
乾燥帯	砂漠 気候	雨がきわめて少なく、砂や岩の砂漠が広がる。
	ステップ 気候	やや雨が降り、草原が広がっている。遊牧が行われる。
温帯	温暖湿潤 気候	冬と夏の気温差が大きく、1年を通して雨が多い。
	西岸海洋性 気候	偏西風と暖流の影響で、冬と夏の気温・降水量の差が小さい。
	地中海性 気候	冬に雨が多く、夏は極端に雨が少ない。
亜寒帯	亜寒帯 気候	冬の寒さが厳しく、冬と夏の気温の差が大きい。
寒帯	氷雪 気候	1年中雪と氷におおわれる。
	ツンドラ 気候	夏の間、地表の氷がとけ、わずかにこけ類が生える。

単元名	年組番	問
2年生 地理的分野 世界と比べた日本の地域的特色1	氏名	

○次の各問いに答えなさい。

(1) 右の図のア～ソにあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

- ア (十勝 平野)
- イ (石狩 平野)
- ウ (奥羽 山脈)
- エ (越後 平野)
- オ (信濃 川)
- カ (利根 川)
- キ (関東 平野)
- ク (飛騨 山脈)
- ケ (木曾 山脈)
- コ (濃尾 平野)
- サ (淀 川)
- シ (紀伊 山地)
- ス (中国 山地)
- セ (筑後 川)
- ソ (筑紫 平野)



(2) 日本の気候区分について、
次の表の空欄にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

気候区分	特色
北海道 の気候	冬の寒さが厳しく、夏も涼しい
日本海側 の気候	冬はたくさんの雪が降り、夏は乾燥する。
太平洋側 の気候	冬は晴れることが多く、夏は雨が多い。
内陸 の気候	雨や雪の量が少なく、夏と冬、昼と夜の気温の差が大きい。
瀬戸内 の気候	一年中温暖で、降水量が少ない。
南西諸島 の気候	沿岸を流れる黒潮の影響で、冬でも温暖で、1年を通して雨が多い。

(3) 日本で発生する次の自然災害をそれぞれ何というか、答えなさい。

- ア、地震の後に発生し、人や建物が飲みこまれ、大きな被害がでる。
- イ、東北地方で、やませの影響で夏の気温が上がらず、稲などに被害が出る。
- ウ、大雨により、川が氾濫したりする。
- エ、梅雨や台風による雨が十分に降らなかったときに被害が出る。

ア (津波)、イ (冷害)、ウ (洪水)、エ (干ばつ)

●資源や産業の特色

○エネルギー・鉱産資源の生産と消費

- ・地下に埋蔵されている有用な鉱物を「**鉱産資源**」といい、その中で、電力や動力のもととなる原油・石炭・天然ガスなどの化石燃料を、「**エネルギー資源**」という。埋蔵量や消費量には、偏りがある。
- ・日本は**鉱産資源**の消費量が多い国であるが、生産量はきわめて少なく、多くを輸入に依存している。また、最近、高度な技術を使った製品の生産に欠かせず、安定的な輸入が難しい**レアメタル**は、不要になった家電製品から回収して再利用するなどの対策が進められている。
- ・電力は、**火力発電・水力発電・原子力発電**などによって得られている。

○日本の産業

- ・産業は次のように分けられる。
 - 第 1 次産業**・・・農業・林業・漁業（＝農林水産業）
 - 第 2 次産業**・・・鉱工業・建設業
 - 第 3 次産業**・・・商業・金融・運輸・サービス業

○日本の農業・林業・漁業

- ・日本の農業は、各地の気候や地形の特色などを生かして行われている。
 - 稲作（＝米）・・・北陸や東北地方
 - 野菜・・・関東地方
 - 果実・・・東北地方や中国・四国地方
 - 畜産・・・北海道や九州地方
- ・森林面積の割合が高い日本では、林業がさかんに行われてきた。しかし、現在は、外国から輸入される木材のほうが多く使われている。また、作業が難しく労働も厳しいため、林業に従事する人の数が減り、高齢化が進んでいる。
- ・日本の周辺には**大陸棚**が広がり、**暖流**と**寒流**がぶつかる好漁場もあり、漁業がさかんに行われてきた。しかし、現在では、漁獲量は最盛期の半分近くまで減り、水産物の輸入量が増えている。

○日本の工業

- ・日本で早くから工業が発達していたのは、**京浜・中京・阪神・北九州**などの工業地帯で、戦後、輸入資源を利用した工場が臨海部に立地した。その結果、関東地方から九州地方北部にかけてのびる、带状の工業地域、**太平洋ベルト**が形成された。**自動車産業**や**電気機械工業**が発展してからは、工業地域は内陸へも広がり、高速道路沿いや空港の近くが注目され、工業団地が整備されている。

○日本の商業・サービス業

- ・第 3 次産業の中で**商業**は大きな割合をしめ、生活の変化や技術の発達にあわせて、営業の仕方などが変わってきている。

単元名	年組番	問
2年生 地理的分野 世界と比べた日本の地域的特色 2	氏名	

○次の各問いに答えなさい。

(1) 資料1を見て、「原油」「石炭」「鉄鉱石」の生産量が多い国上位3つをそれぞれ書き出ささい。

原油	石炭	鉄鉱石
サウジアラビア ロシア アメリカ合衆国、	中国 アメリカ合衆国、 インド	ブラジル オーストラリア 中国

資料1
教科書 P. 155
③世界のエネルギー・
鉄産資源の生産と消費

(2) 資料2を見て、それぞれの生産・栽培が盛んなところはどこか、次の表を完成させなさい。

稲作(米)	果樹栽培		畜産(牛、豚、 にわとり)	野菜
	りんご	みかん		
東北	青森 長野 岩手	和歌山 愛媛 静岡	北海道 九州	関東

資料2
教科書 P. 158
①おもな農業地域の農
業生産額の内訳
②日本の農業地域

(3) 近年、漁業の重点は、とる漁業から育てる漁業へ移りつつある。次の漁業を何というか、それぞれ答えなさい。

- ア、いけすなどで魚や貝などを人工的に育てて増やす方法 (養殖)
イ、人工的に育てた稚魚や稚貝を放流して沿岸の漁業資源を増やそうとする方法 (栽培漁業)

(4) 資料3を見て、日本の貿易品目はどのように変化しているか。次の表の()にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

	輸入	輸出
1935年から 1975年	(石油)の 割合が増え、 (繊維原料・製品)の 割合が減った。	(機械類、鉄鋼)の 割合が増え、 (繊維・繊維製品)の 割合が減った。
1975年から 2013年	(機械類)の 割合が増え、 (石油)の 割合が減った。	(機械類)の 割合が増え、 (鉄鋼)の 割合が減った。

資料3
教科書 P. 161
⑤日本の貿易品目の変
化

単元名	年組番	問
2年生 地理的分野 世界と比べた日本の地域的特色2	氏名	

○次の各問いに答えなさい。

- (1) 資料1を見て、「火力発電」「水力発電」「原子力発電」の割合が最も高い国をそれぞれ書き出しなさい。

火力発電	水力発電	原子力発電
日本、アメリカ合衆国 中国、ドイツ	ブラジル	フランス

資料1
教科書P.157
⑥おもな国の発電量の
内訳

- (2) エネルギー資源の自給率が低い日本で、注目され開発されている「新しいエネルギー」を書き出しなさい。

太陽光、風力、バイオマス、地熱、波力・・・

- (3) 経済が発展すると、産業別人口はどのように変化するか。資料2を見て、割合が「低くなる産業」「高くなる産業」を答えなさい。

経済が発展すると、(第1次産業) の割合は低くなり、
(第3次産業) の割合は高くなる。

資料2
教科書P.162
④おもな国の産業別人口の割合

- (4) 資料3を見て、アメリカ合衆国と比べた日本の農業の特色を、「規模」の面から答えなさい。

日本の農業の特色は、規模は(小さい)

資料3
教科書P.158
③アメリカ合衆国と日本の農民一人あたりの耕地面積

- (5) 日本から遠く離れた海域で行う遠洋漁業もかつてさかんに行われていたが、現在では、漁獲量が減ってきている。それはなぜか、答えなさい。

多くの国が排他的経済水域を設けて、他国の漁業活動を規制するようになったため。

- ~~(6) 資料4のように、日本の企業は海外へ進出し生産を行っている。日本の企業が海外の工場で生産を行うのはなぜか。アメリカの場合とアジアの国々の場合、それぞれ答えなさい。~~

アメリカの場合	貿易摩擦を避けるため —(日本の輸出超過をおさえるため)—
アジアの国々の場合	労働力が豊富で、賃金が安いから

資料4
教科書P.157
⑦海外に進出しているおもな日本の電気機械企業

- (5) 企業が海外に進出したり、外国の工業製品の輸入が増えたりしたため、一部の工業では国内での生産が衰退してきている。このような現象を何というか、答えなさい。 (産業の空洞化)

●人口の特色

○世界の人口

- ・現在の世界の人口は約 7 3 億人で、人口の分布は、自然環境や産業の発展などの違いによってかたよりがみられる。東アジアや南アジア、ヨーロッパでは人口密度が高く、アフリカやオーストラリアの乾燥した気候の地域、ユーラシア大陸や北アメリカ大陸の寒冷な気候の地域は人口密度も低い。
- ・第二次世界大戦後、世界の人口は急増し、なかでもアジアとアフリカの増加は激しく、**人口爆発**と言われる。

○日本の人口

- ・日本の人口は約 1 億 3 0 0 0 万人で、世界でも人口の多い国の一つである。第二次世界大戦後、高い出生率を示したが、その後次第に低下し、今後は人口減少が続くと予想され、**高齢化**が一層進むと考えられている。

●地域間の結びつきの特色

○世界の交通・通信網と日本

- ・現在の世界では、交通網の発達により、国境を越えた物や人の移動が活発になっている。周囲を海に囲まれた日本は、燃料・原料の輸入、機械類の輸出において、安く大量に輸送できる**海上輸送**が利用されている。また、海外との人の行き来、電子機器や魚介類・生花など、軽くて高価なものを運ぶ**航空輸送**も重要になっている。
- ・国際間の通信は、通信衛星や海底ケーブルにたよっており、国際電話やインターネットの普及により、生活はますます便利になっている。

○日本の交通・通信網

- ・高度経済成長の時期から、新幹線の開業や空港の整備、高速道路の建設など交通網が整備され、近年それらの高速化により、地域間の移動が大幅に短縮された。また、高速道路網の整備により、自動車輸送の割合が高くなり、高速道路沿いの地域への工場の立地も増えている。
- ・**パソコン**や**携帯電話**などの情報通信機器が発達・普及したことによって、生活も大きく変化し、便利になった。

単 元 名	年 組 番	問
2年生 地理的分野 世界と比べた日本の地域的特色3	氏名	

○次の各問いに答えなさい。

(1) 日本の人口は1億3000万人、面積は38万km²である。日本の人口密度を求めなさい。
日本の人口密度 (342 人/km²)

(2) 資料1を見て、世界で人口密度が高いのはどのような地域か、答えなさい。

アジアの大きな川の流域に広がる平野

(3) 資料2を見て、世界で人口の増加が激しいのは、どの地域か、答えなさい。

(アジア、アフリカ)

資料1
教科書 P. 151
⑤世界の人口の分布

資料2
教科書 P. 150
②世界の人口の推移

(4) 教科書 P. 142、143 を読んで、人口が増加している国や地域では、どのような問題が発生しているか、答えなさい。

食料増産のため森林伐採がすすみ、環境破壊の問題がおこる。

(住宅不足、慢性的な渋滞、騒音、ゴミ処理なども)

~~(5) 資料3を見て、日本を訪れる外国人はどの地域の人が多いか、
答えなさい。 (アジア)~~

資料3
教科書 P. 161
④日本人の出国者数
と訪日外国人の国・
地域別割合

単 元 名	年 組 番	問
2年生 地理的分野 世界と比べた日本の地域的特色3	氏名	

○次の各問いに答えなさい。

(1) 人口ピラミッドの型「富士山型」「つりがね型」「つぼ型」の特色・課題をまとめなさい。

富士山型	つりがね型	つぼ型
出生率・死亡率ともに高い。 年少者を養うための負担が大きい。 発展途上国にみられる。	出生率・死亡率ともに低い。 生産年齢の人口が多く、経済発展に有利である。 先進国にみられる。	出生率・死亡率ともに低下している。老年人口の負担が大きく問題である。 日本もこの型。

(2) 「高齢化」が進んだ日本の課題をあげてみましょう。

労働力が不足する。 社会福祉に関する負担が大きくなる。

(3) 「過密」「過疎」地域の課題・問題点をあげてみましょう。

過密地域	住宅や学校が不足する。 交通渋滞が発生する。
過疎地域	地域社会を支える活動が困難になる。

(4) 資料1を見て、「海上輸送」「航空輸送」では、それぞれどのようなものが運ばれているか、答えなさい。

海上輸送	原油や石炭などの燃料、鉄鉱石などの原料 重くてかさばる機械類
航空輸送	ICなどの電子機器や貴金属、新鮮さが大切な魚介類や生花、軽くて高価なもの

資料1
教科書P. 164
②日本の海上輸送貨物
③日本の航空輸送貨物